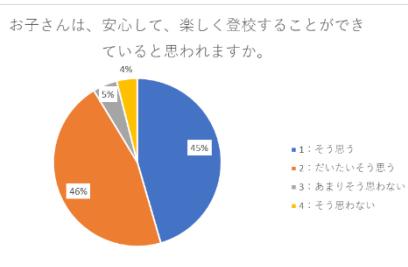
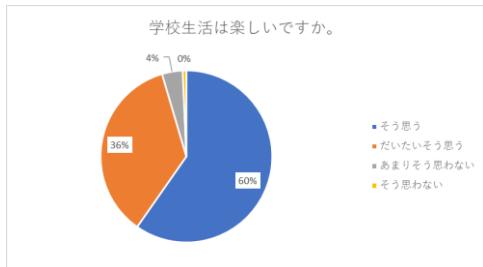


# 令和6年度 後期学校評価アンケートのまとめ（生徒・保護者）

回答 a そう思う b だいたいそう思う c あまりそう思わない d そう思わない ( ) 内は今年度前期の結果

1 学校生活は楽しいですか。

子どもは安心して楽しく登校することができている。



子どもたちの学校生活について、生徒の回答は前回よりも「そう思う」の回答が増加しました。一方、生徒・保護者とともに、否定的な回答がある現状は変わっていません。

(生徒) a 60% (63%) b 36% (35%)

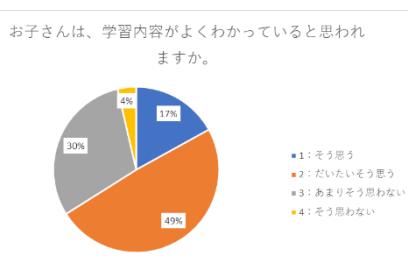
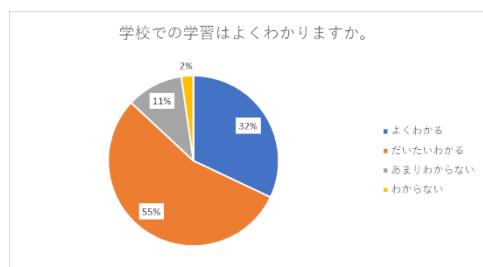
c 4% (3%) d 0% (1%)

(保護者) a 45% (40%)

b 46% (52%) c 5% (5%) d 4% (3%)

2 学校での学習はよくわかりますか。

子どもは学習内容がよくわかっている。



学習の理解度について、生徒の「よくわかる」の回答は 6% 下がりました。一方、保護者の「そう思う」が若干上昇しました。不安を持っておられる割合が、若干減少しています。

(生徒) a 32% (38%) b 55% (55%)

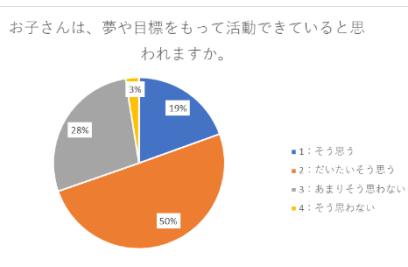
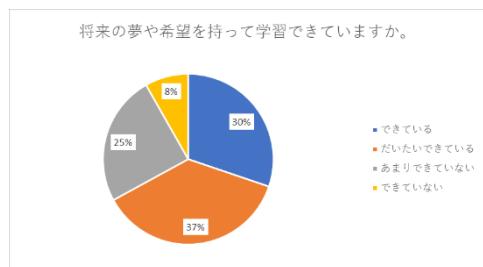
c 11% (6%) d 2% (1%)

(保護者) a 17% (12%) b 49% (52%)

c 30% (32%) d 4% (4%)

3 将来の夢や目標をもって学習していますか。

子どもは夢や目標をもって活動できている。



「将来の夢や目標をもって学習している」について、肯定的な回答の合計値は大きく変化はありません。しかし、約30%の生徒と保護者が学校生活において明確な目的意識を持てていないということに対して問題意識をもつ必要があります。3年生の回答結果が後期で改善するのは当然であって、1・2年生の間に自身の将来について計画的に考える必要があります。

(生徒) a 30% (32%) b 37% (35%)

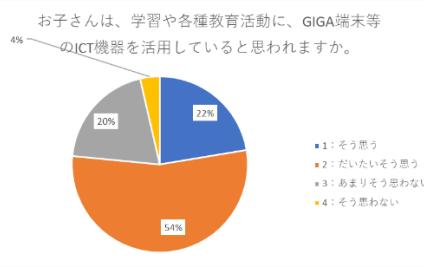
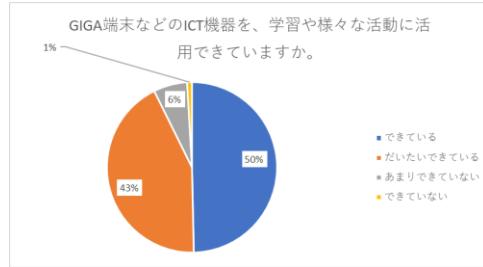
c 25% (25%) d 8% (8%)

(保護者) a 19% (15%) b 50% (54%)

c 28% (27%) d 3% (4%)

4 GIGA 端末等の ICT 機器を学習等に活用していますか。

子どもは ICT 機器を学習や活動に活用している。



「授業における ICT 活用」が、気軽に行えるようになりました。しかし、使うことが目的ではなく、どのような目的で使うのか、その効果はどうであったかを振り返る必要があると思います。生徒と保護者アンケートの結果に大きな開きがあります。家庭での端末の使い方が不適切であるとの意見もありました。再度学校で活用方法について指導するとともに、生徒の自己管理能力の育成と保護者の方への協力要請が必要です。

(生徒) a 50% (50%) b 43% (45%)

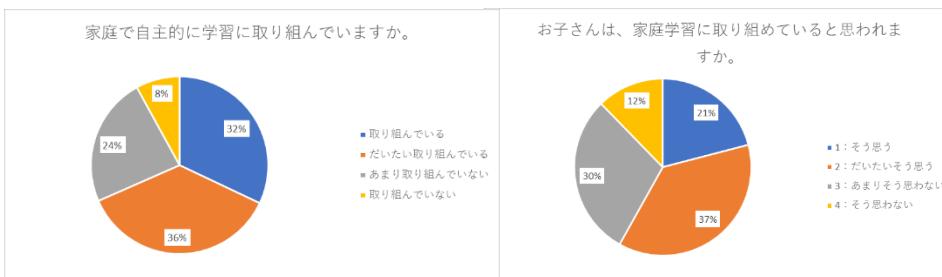
c 6% (4%) d 1% (1%)

(保護者) a 22% (18%) b 54% (52%)

c 20% (24%) d 4% (6%)

## 5 家庭で自主的に学習していますか。

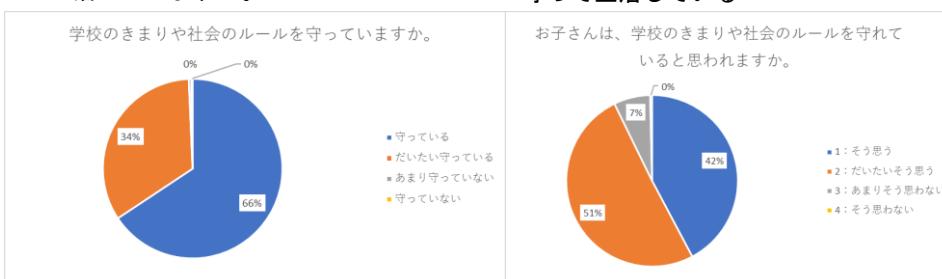
## 子どもは家庭学習に取り組めている



前期では家庭学習について、6割以上の生徒が肯定的な回答をしていましたが、保護者の回答とは大きく差が開いていました。後期では生徒の回答・保護者の回答、共に改善が見られ、回答結果の差も小さくなりました。受験を控えた3年生において、大きく数値が改善されたのが要因です。1・2年生については前期と大きく変化はありません。

## 6 学校のきまりやルールを守って生活していますか。

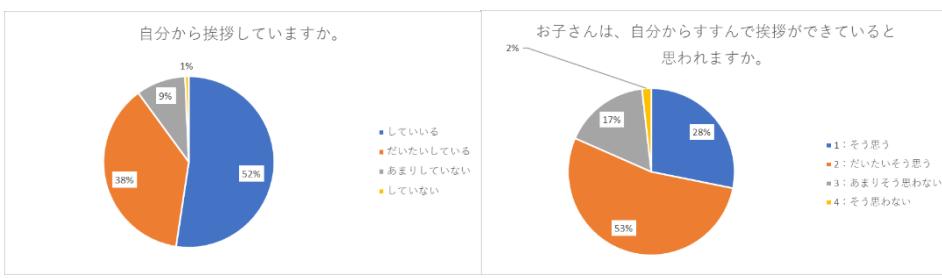
## 子どもは学校のきまりやルールを守って生活している



大半の生徒が「決まりやマナーを守っている」と回答していますが、前期よりも「守っている」の回答が全学年で増加しました。学習やその他の活動に、落ち着いて取り組める環境を、これからも大切にしています。

## 7 自分から挨拶をしていますか。

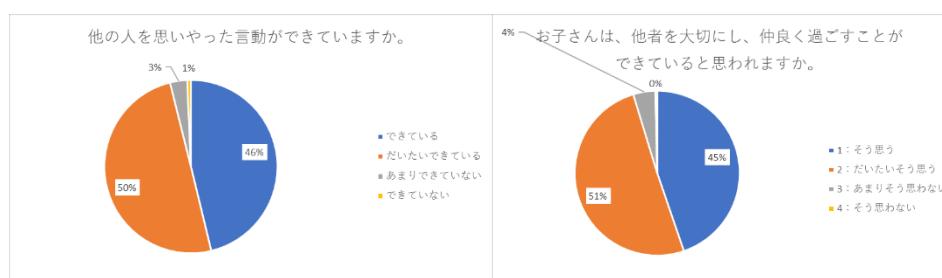
## 子どもは進んで挨拶している



「進んで挨拶をしている」について、生徒と保護者の意識のズレを感じます。人と場所を選ばず、挨拶を「返す」のではなく、進んで挨拶が「できる」と、その挨拶からコミュニケーションを深められることが目標です。

## 8 他の人の思いやった言動ができていますか。

## 子どもは他者を大切にし、仲良く過ごすことができている



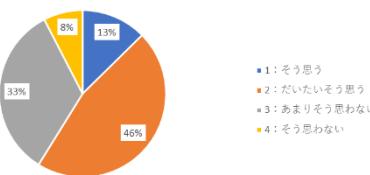
概ね肯定的な回答ですが、半分以上の生徒が「だいたいそう思う」と回答しています。思いやりは、行動によって伝わります。「そう思う」と自信を持って回答できる言動について、共に考えたいと思います。

9 悩みや困りごとを相談できていますか。

子どもは悩みや困りごとを学校に気軽に相談できている



お子さんが、悩みや困りに対し、学校に気軽に相談できていると思われますか。



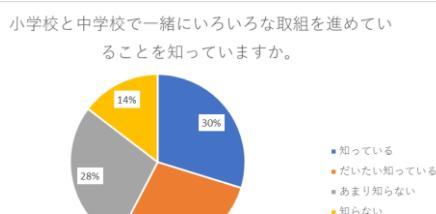
「悩みや困りごとを相談できるか」について、今年度の前期と同様、生徒の約2割、保護者の約4割が否定的な回答でした。担任・顧問でなくとも、話しやすい教職員にお声かけください。

(生徒) a 38% (32%) b 44% (46%)  
c 14% (16%) d 4% (6%)

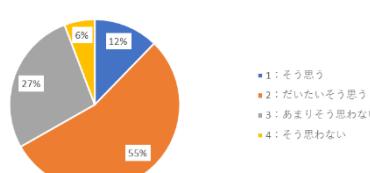
(保護者) a 13% (10%) b 46% (47%)  
c 33% (35%) d 8% (8%)

10 小学校と中学校で一緒に色々な取組を進めていることを知っていますか。

小中が連携して教育活動に取り組めている



小中が連携して教育活動に取り組めていると思われますか。



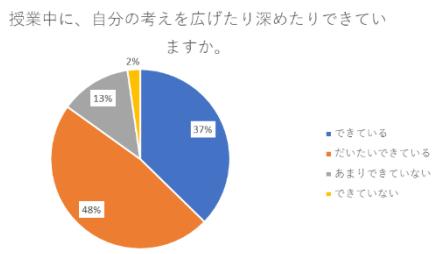
小中連携について、生徒の認知度が上昇し、5割を超えるようになりました。現在、小中間連携を進めているところです。音羽ブロックだより等により、その実践を、引き続き保護者や地域に向けて発信してきます。今後は生徒にも実感しやすい形で展開していくことを目指します。

(生徒) a 30% (28%) b 28% (27%)  
c 28% (33%) d 14% (12%)

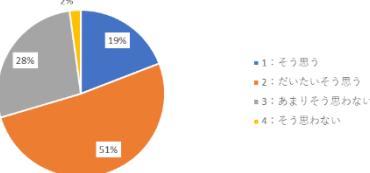
(保護者) a 12% (11%) b 55% (54%)  
c 27% (29%) d 6% (6%)

11 授業中に自分の考えを広げたり深めたりできていますか。

子どもは学習を通して考えが広がったり深まっている



お子さんは、学習を通して考えが広がったり深まっていると思われますか。



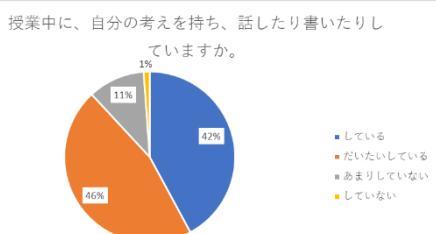
少しずつですが、前期よりもさらに「できている」「そう思う」の回答が増えました。教科学習・道徳・総合的な学習の時間等に、ロイロノートを使って思いや考えを交流する機会が増えています。今後も、これを活用するとともに、インプットとアウトプットの方法を複数持ち、考えを広げていけるよう、授業目標や展開の見直しを図ります。

(生徒) a 37% (32%) b 48% (50%)  
c 13% (16%) d 2% (2%)

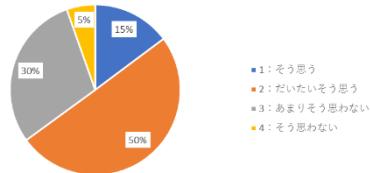
(保護者) a 19% (16%) b 51% (51%)  
c 28% (30%) d 2% (3%)

12 自分の考えを持ち、話したり書いたりしていますか。

子どもは自分の考えや思いを伝えきことができている



お子さんは、自分の思いや考えを伝えることができていると思われますか。



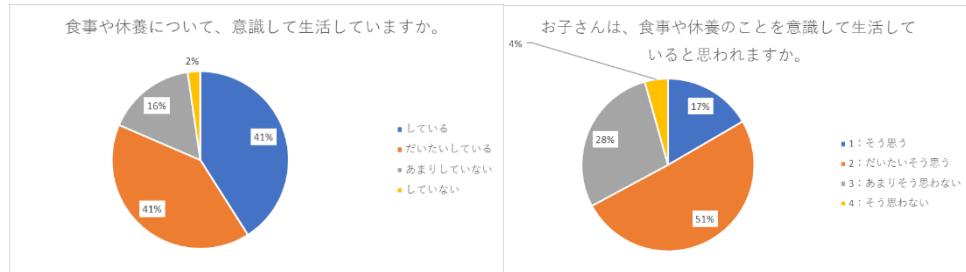
GIGA 端末の活用等により、さまざまなアウトプットの機会が増え、「表現」が学習の一部になりました。保護者の回答と生徒の回答の結果に大きな開きがあります。発表したり、面と向かって伝えたりすることが得意ではない生徒も、自分の考えを表現できている結果と考えます。高学年になるほど、肯定的な回答が増えていきます。

(生徒) a 42% (35%) b 46% (51%)  
c 11% (12%) d 1% (2%)

(保護者) a 15% (15%) b 50% (51%)  
c 30% (28%) d 5% (6%)

13 食事や休養に気をつけて生活していますか。

子どもは食事や休養に気をつけて生活している

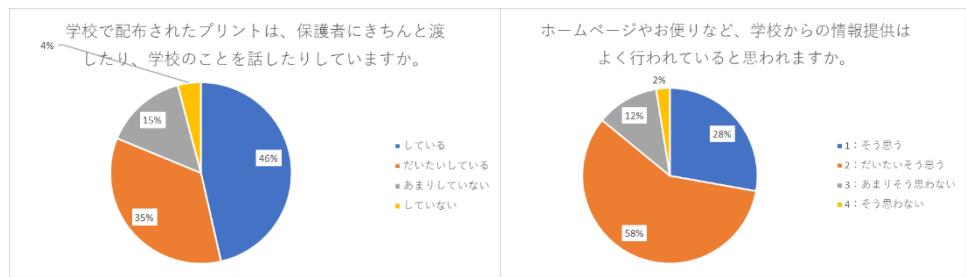


(生徒) a 42% (40%) b 41% (41%)  
c 16% (17%) d 2% (2%)

(保護者) a 17% (17%) b 51% (47%)  
c 28% (31%) d 4% (5%)

14 学校で配布されたプリントをきちんと渡し、学校のことを話していますか。

学校からの情報提供は、よく行われている



(生徒) a 46% (42%) b 35% (38%)  
c 15% (17%) d 4% (3%)

(保護者) a 28% (24%) b 58% (58%)  
c 12% (14%) d 2% (4%)

アンケート結果から、食事や休養に関する生徒と保護者の意識のズレを感じました。学校では、食育掲示板・食育だより・食育放送等に加え、箸使い選手権などの行事を通して、食育に力を入れているところです。しかし、その知識を、「睡眠」「朝夕の食事」等、家庭での生活場面にいかしきれていない可能性があります。多くの生徒が食事や休養の大切さを理解しています。それが実践につながるよう、家庭と学校との協働が必要だと思います。

学校からの情報提供について、概ね肯定的な回答でした。配布プリント・スグール配信・学校ホームページ等を活用し、さらに必要な情報が発信できるよう、取り組みます。今後は徐々に紙の配布を減らし、すぐ一配信に切り替えていく計画です。